

2020年11月16日 第20回公開研究会

講演：花岡しげる氏 「自衛隊も米軍も、日本にはいない」

～自衛隊・米軍の存在を容認する護憲運動では改憲勢力に勝てない～

- 1) 現状の護憲運動の問題、成果のあがる護憲運動が掲げるべきテーマ
- 2) 自衛隊合憲・違憲論争に終止符を打つ究極の安全保障策の提案
- 3) 非軍事組織「災害救助即応隊

(ジャイロ、Japan International Rescue Organization)」

創設の必要性と効用そして実現可能性

- 4) 非武装中立国家の建設のためのロードマップ

花岡しげるさん

著書：『自衛隊も米軍も、日本にはいない！』（花伝社、2020.1 1500円）

1943 年生まれ。1966 年東京大学法学部政治学科卒、

1975 年カリフォルニア大学バークレー校経営学修士。

1966 年日本勧業銀行（現みずほ銀行）入行。

国内支店長を経て大手電機メーカー出向、取締役国際事業本部担当。

銀行および出向先でニューヨーク、ロンドン、トロントなど 15 年以上にわたり海外駐在。

2006 年カリタス女子短期大学非常勤講師（時事英語）。

2003 年「自衛隊イラク派兵反対集会」を機に市民運動に参加、

オーバー東京（A9S）、コスタリカに学ぶ会会員、

2004 年以降チャールズ・オーバビー博士（オハイオ大学名誉教授）

と博士の最晩年まで親交を結ぶ。

9 条地球憲章の会、

SA9（Second Article9、埼玉県日高市発祥の平和運動）の活動を支援中。

2019年5月、埼玉9区の次期衆議院総選挙の野党統一候補（無所属）として埼玉9区の市民グループから推薦されたが辞退。
講演の時の様子↓こちらでご覧になることができます。

<https://youtu.be/w3sGjtkgzXo>

自衛隊も 米軍も、 日本には いら ない!

Shigeru Hanaoka 花岡しげる

「災害救助即応隊」構想で
日本を真の平和国家に



9条の理念をいかに守り、
体現していけるのか、
本書にはそのエッセンスが
詰まっている。

東京新聞社会部記者

望月衣塑子

改憲を阻止して、今こそ
恒久平和への道を歩もう！
護憲派のための究極の
安全保障論
自衛隊を非軍事組織
「災害救助即応隊」に衣替え

花伝社

自衛隊も米軍も、日本にはいない！

「災害救助即応隊」構想で日本を真の平和国家に

花岡しげる

定価：本体 1500 円＋税

ISBN978-4-7634-0914-0

C0036

発行：2020 年 1 月 25 日

四六判並製 204 頁

● 内容紹介 ●

護憲派のための究極の安全保障論

自衛隊を非軍事組織「災害救助即応隊」に衣替え！

- 防衛省を「防災平和省」に、自衛隊を「災害救助即応隊（ジャイロ）」にすることで、憲法第9条を護り、自衛隊違憲論争に終止符を打つ
- 「日本国憲法は押しつけられたものでしょ？」 「他国に攻められたらどうするの？」……改憲派の常套句にも、すべて反論可能
- アメリカの憲法に日本国憲法第9条を書き加える運動をされていたチャールズ・オーバビー博士との交流や、軍隊を放棄したコスタリカを訪ねた経験を活かす

改憲を阻止して、今こそ恒久平和への道を歩もう！

東京新聞社会部記者望月衣塑子氏推薦！

「9条の理念をいかに守り、体現していけるのか、本書にはそのエッセンスが詰まっている」

●目次●

- 序 文 日本に真の平和を築くために
- 第1章 改憲論議に「待った」をかけるために
- 第2章 究極の安全保障組織「防災平和省」の新設
- 第3章 自衛隊違憲論争と抑止力
- 第4章 「災害救助即応隊（ジャイロ）」創設か、自衛隊・日米安保体制の継続か
- 第5章 外国から攻められたらどうする？ の心配は無用
- 第6章 護憲派と改憲派、そして無関心層へのアプローチ
- 第7章 防災平和省と「災害救助即応隊（ジャイロ）」実現のロードマップ
- 終 章 コスタリカは生き字引き

●著者紹介●

花岡しげる（はなおか・しげる）

1943 年生まれ。1966 年東京大学法学部政治学科卒、1975 年カリフォルニア大学バークレー校経営学修士。1966 年日本勧業銀行（現みずほ銀行）入行。国内支店長を経て大手電機メーカー出向、取締役国際事業本部担当。銀行および出向先でニューヨーク、ロンドン、トロントなど 15 年以上にわたり海外駐在。2006 年カリタス女子短期大学非常勤講師（時事英語）。

2003 年「自衛隊イラク派兵反対集会」を機に市民運動に参加、オーバ東京（A9S）、コスタリカに学ぶ会会員、2004 年以降チャールズ・オーバビー博士（オハイオ大学名誉教授）と博士の最晩年まで親交を結ぶ。9 条地球憲章の会、S A 9（Second Article 9、埼玉県日高市発祥の平和運動）の活動を支援中。

<http://www.kadensha.net/books/2020/202001jjeitaibeigun.html>